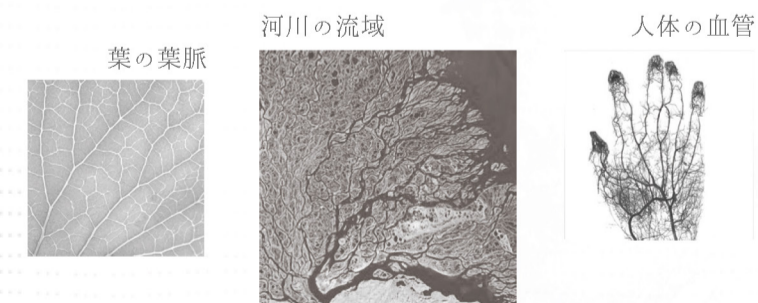




01. 樹状構造の参照

窓の外に目をやると、なだらかに連なる河川の流域や、草木の織り成す樹木のひろがり、葉の葉脈など様々な生命の脈動が存在している。私たちの根源にあり美しく豊かなフォルムを生み出す自然界の生命構造「流域」を内包するガラス屋根を思案する。



枝分かれる樹木

稲妻の形状

02. 流域の造形

樹状構造における「自己相似性」「フラクタル分岐」「流動性」の特性を参照し最小単位の形状を定め、それを組み合わせることで複雑な流域を形成する



03. 現象するガラス屋根

「流域」を内包する屋根は、尾根や谷やくぼみを持ち、雨水を立体的に細部まで行き渡らせる。雨の滴る音の匂い、濡れた曲線、時間とともに蔓延る自然、生態環境など雨により生起する様々な現象を内包した空間を築く。



□従来の屋根

□流域を内包するガラス屋根

□時間とともに蔓延る自然

